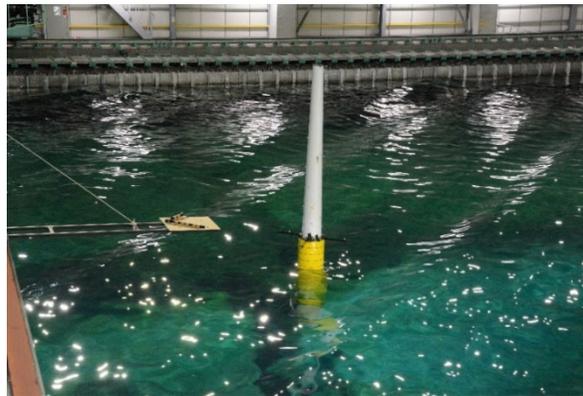


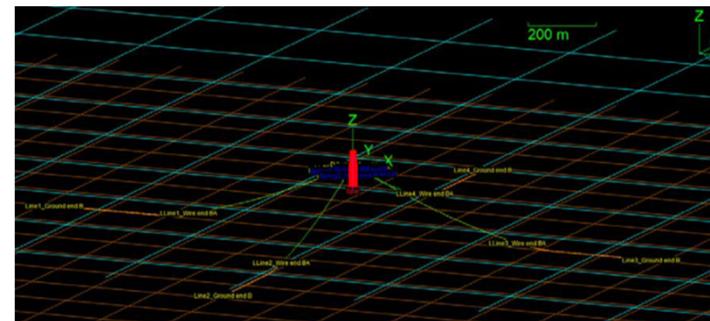
1. 浮体式基礎製造・設置低コスト化技術開発事業

【 大型スパー型浮体の設計 】

- 平面パネル溶接方式による大型スパー型浮体の設計技術確立に向けて、机上検討および水槽模型実験を実施しました。
- 机上検討では、平面パネル溶接方式で生じる断面変化部の応力集中を構造解析で適切に評価し、大型スパー型浮体の構造合理化することにより、浮体調達コストの低減を実現しました。
- 水槽模型実験では、1/50スケールの模型にて、浮体の動揺特性を把握するとともに、再現解析により解析モデルの信頼性を確認しました。
- 以上により大型スパー型の基本設計を完了し、日本海事協会における基本設計承認（AiP）を2024年3月22日に取得しました。



水槽模型実験状況



浮体運動解析モデル

1. 浮体式基礎製造・設置低コスト化技術開発事業

【 係留システムの施工試験 】

- 係留索とアンカーの高効率な施工に向けて、専用船を用いた海洋での施工試験を実施しました。
- チェーンおよびアンカー設置作業の施工サイクル（積込作業、沖合でのチェーン展張作業など）を確認しました。
- 本試験を通じて、係留施工コストの低減を実現しました。



専用船の作業場所(デッキ)



船尾からのアンカー投入状況

1. 浮体式基礎製造・設置低コスト化技術開発事業

【 風車据え付け施工試験 】

- 洋上施工時に動揺があっても、安全かつ確実に風車を据え付ける風車-浮体接続構造を開発するため、施工試験を実施しました。
- 実機に対して1/3スケール模型を用いて、風車据え付け作業の施工性（作業時間や作業手順など）を確認しました。
- 本試験を通じて、風車据え付けコストの低減を実現しました。



風車下部の
部分模型

浮体上部の
部分模型

施工試験状況